

## 医療経済実態調査（医療機関等調査）に関する検討事項(案)

### 1. 調査客体の抽出方法について

#### (1) 病床数が200床以上、200床未満の病院区分について

- 病院の母集団を、200床を境として分類し、それぞれから調査客体を抽出することとする。

#### (2) 院外処方の有無別の区分について

- 医療施設の母集団を、院外処方の有無について分類し、それぞれから調査客体を抽出することとする。

#### (3) 介護報酬に係る収入を有する医療機関等の区分について

- 医療施設の母集団を介護療養施設サービス事業を行っている医療施設と行っていない医療施設に分類した後に、それぞれから調査客体を抽出することとしてはどうか。

なお、抽出率は双方とも現行の病院1/5、一般診療所1/25抽出とすることとしてはどうか。

### 2. 調査内容等について

- 医療と介護の費用区分については、介護保険事業の会計処理における費用区分の考え方を参考としてはどうか。

なお、集計は調査結果に基づいて、介護事業に係る収入を有する医療機関等とそうでない医療機関等に区分し、集計・分析を行うこととしてはどうか。

### 3. 薬剤関係調査について

○ 薬剤管理コストのうち、次のような客観的な調査が可能な項目について調査することとしてはどうか。

ア 薬剤損耗額

イ スペースコスト（薬剤保管庫、医療用廃棄物集積場等の床面積）

ウ 薬剤管理に関わる設備機器（減価償却費、賃借料）

エ 院内における薬剤の保管及び運搬を委託している場合は、その委託費。  
（院内物流等を一括して委託契約している場合の按分方法を明記）

なお、調査客体については、医療経済実態調査の対象となる客体としてはどうか。

### 4. 部門別収支分析について

○ 薬剤部門も含めた部門別収支分析については、分析方法等の研究に着手する。

### 5. その他